

南町民センター指定管理者クリーン・ローズの評価 【選定委員総括表】

目的	一般住民の学習、保育、休養及び集会の用に供するために設置された本施設を、地域住民で構成され社会奉仕活動を行う団体たる指定管理者が、その能力を活用しつつ、地域住民等に対する住民サービスの効果及び効率を向上させ、もって地域コミュニティや福祉の一層の増進を図ること
----	---

評価対象期間：平成28年4月1日～平成28年9月30日

評価項目	評価視点	評価区分
1 施設の維持管理	・日常的な施設内外の清掃など利用者が気持ち良く利用できる環境を維持しているか ・定期的な巡回などで、危険箇所や異常を発見した際に、修繕や町への報告が速やかにされているか	良
2 利用者への対応	・町民の利用にあたり不公平が生じていないか ・利用日・利用時間の遵守が徹底されているか	良
3 施設運営の経費削減	・不用な電気・水道・電話などの使用を慎み経費削減に努めているか ・効率的な人員配置を行っているか	良
4 情報の管理・保護	・指定管理によって知り得た秘密や情報を外部に漏らしたり、他の目的に使用していないか ・個人情報に関する書類等の保管・保護が適切になされているか	可
5 災害時、緊急時に備えた危機管理体制	・開館時に警報が発令された場合、町と連携をとり適切な体制や処置がとれているか ・防災訓練を実施するなど、有事に備えた体制がとれているか ・館内で急病者が出た場合、適切な体制や対応がとれているか	良
6 地域の各種団体との連携	・地域の各種団体との連携により利用の増加を図っているか	良

【所管課の総合評価】

(1) 地域の方々とのコミュニケーションを図るため、園児を対象とした抹茶体験会の実施や、地域住民に積極的に声を掛けたり、くつろぎ苑では月1回の抹茶サービスを行っている。地域のコミュニティーづくりを積極的に行っている。
 (2) 5人の管理人が培ってきた経験を活かし、自主事業の実施を行っていることや館内の清掃活動や花壇整備を行っていることは、指定管理者クリーン・ローズができる特筆したことである。また、施設周辺の雑草の処理など、管理人1人では難しいことも5人で計画的に行うことで、対応ができています。
 (3) 危機管理意識を強く持ち、消防署職員によるAED講習を受け、有事に備えた活動を積極的に行っている。また、AEDは常に廊下から見える場所に設置、簡単な図で示したマニュアルと一緒に保管することで、緊急時に慌てず対応ができるように日頃から備えている。施設の利用者だけではなく、近隣住民の緊急時にも対応しなければと使命感を持って臨んでいる。

【委員会の意見】

平成28年11月29日開催 平成28年度第3回指定管理者選定委員会での総評

- 1) 協定書及び仕様書、事業計画書に基づいた管理運営がなされており、所管課の評価を基本的に承認する。ただし、評価項目2「利用者への対応」については、親しみやすかつ公平な運営に努めているため、「可」から「良」に変更する。
- 2) 指定管理者の女性目線による細やかな管理が行き届き、日々の清掃等が十分になされ、施設を大切に管理されている姿勢は、大いに評価できる。
- 3) 経費削減に努め、町内の他の町民センターと比べ、利用者1名当たりの経費を圧縮して効率的な運営を実現していることは、非常に評価できる。
- 4) 地域密着型の団体として利用者及び地域住民の方々とのコミュニケーションを積極的に図り、コミュニティー形成に貢献している点も高く評価できる。
- 5) 今後とも、地域住民の交流の場・憩いの場として、レベルアップを図ってもらいたい。